

マラナ・タ



メンバー少なめの日。ほんとはもっと沢山います…！

～おしながき～

青年会長挨拶・・・・・・・・まの p.1

修養会報告・・・・・・・・ともや p.2

編集長挨拶・・・・・・・・かほ p.3

青年会長挨拶

～ 2年目もよろしくお祈いします ～

まの

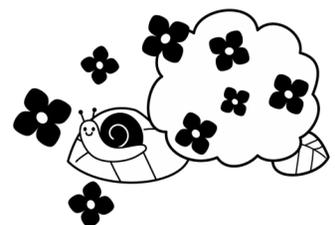
マラナタオンライン号お読みの皆さんこんにちは。青年会長のまのです。
青年会長2年目がスタートしたと同時に、学生生活最後の年になってしまいました。
今年度は就活に卒論に大変な1年になりそうです。無事に卒業できますようにと思いながら学生生活満喫していきたいと思っています。

新生活がスタートしましたが、いかがお過ごしでしょうか。前回のマラナタオンライン号で少し触れましたが、無事に精神保健福祉士現場実習を終えることができました。大学の座学に比べて専門性も高く、毎日新たな発見と学びの連続で本当に充実していました。2つの施設で実習をしたのですが、利用者の雰囲気や年齢層、実習内容も違いました。その分、それぞれの施設で悩むことも多く、しんどい日々でした。途中で何度か実習に行くことと決めたことを後悔したこともありましたが、実習を終えた今は実習に行ったことに後悔はないですし、行ってよかったと思っています。

私の話はこのくらいにして、洛北青年会の話をしようと思います。
洛北青年会は、3月の青年総会で人事異動を行い、4月から新体制になりました。と言っても、役職メンバーは変わっていません。前回のマラナタオンライン号で進学・就職で京都に引っ越しされる際はぜひ洛北教会へという重要なお知らせをしました。お知らせのおかげかわかりませんが、新しく仲間も増え、多くの青年と一緒に礼拝を守ることができています。本当に感謝ですし、本当ににぎやかになりました。昨年度もコロナ禍のなか、青年修養会、バザー奉仕など多くの活動機会が与えられました。今年度はコロナの分類も引き下げられたことから、昨年度以上の活動機会が与えられ、多くの青年と交わる時間があることを願っています。この1年洛北青年会でたくさんの仲間とたくさん楽しい思い出を作っていけたらなと思っています。

最後に簡単な活動報告です。5月に青年修養会を開催し、1人の青年の証を聞きました。修養会の後は、お互いを知ってもらうために自己紹介したりおしゃべりしたりと、楽しい時間を過ごしました。(詳しくは活動報告のページをご覧ください)

昨年度同様、今年度もよろしくお祈いします。



聖霊の助け

ともや

5月14日の修養会で証しさせていただきました。体調不良で真乃さんに代読していただきました。ありがとうございました。

その内容は、私が長い間両親との葛藤に苦しみ、心身ともに疲弊していた時期を経て、少しずつ回復し、自分の罪深さにも関わらず神様は絶えず私を憐れみ、豊かな恵みを与え続けてくださっていたことに改めて気づかされたというものでした。初めての証しでしたので、何を話そうか悩みましたし、あまり過去のことを振り返りたくないと思いましたが、神様の御手の内で生きる喜びを、私なりに少しでもお伝え出来たなら幸いです。

Wordで執筆している際に、誤って消してしまった部分があるので、ここに記しておきます。今回の修養会で選ばせていただいた聖書箇所は、ヨハネによる福音書14章15～17節です。余談ですが、16世紀イングランドの作曲家トマス・タリスの“If ye love me”という曲はこの聖書箇所を使用しており、私の好きな曲の一つでもあります。

さて、この聖書箇所の要点は主に二つだと思います。一つは、「あなたがたがわたしを愛しているならば、わたし(主イエス)の掟を守る。」であろうということです。ここで言う掟とは、第一に「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」という掟であり、第二に「わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。」という掟のことだろうと思います。私は、神様を愛し人を愛するという順序を忘れないことがとても大切だと思います。私は「愛」という言葉を日常生活で目にする中で、少し違和感を覚えるときもあるのですが、それはおそらくこの点を踏まえていないからだと思います。この場合の愛とは、自己愛が他者に向けられ、その射程に入った人のみを自己都合で愛するという傲慢で一時的なものというイメージでしょうか。一方で、先述した主の掟で示される愛とは、神様から与えられ続ける「無償の愛」に対して感謝しつつ神様を愛し、隣人もまた愛するという謙遜なものであり、自己都合の一方的な愛とは全く性質の異なるものだと思います。

もう一つの要点は、イエス様が父なる神にお願いして、「もう一人の助け主」である聖霊を送り、私たちと共におられるばかりか、内に住まわれるということです。これは非常に切実で具体的な助けであろうと思います。程度の差こそあれ、誰しも試練に直面し、孤独感や挫折感を味わうことはあると思います。また、努力してもなかなか自分の嫌な性質を変えられないとき、あるいは自分とは異なる価値観を理解できないときに苛立ちや不安を覚えるものではないでしょうか。しかしそうした時に、私たち自身の力で改善を図り、試練を乗り越えていかなくても、私たちが聖霊に満たされて内側から変えられることで、困難を乗り越えることができ、自然と隣人を愛することができるようになるという力強い宣言だと思います。

編集長挨拶

かほ

みなさんこんにちは。今年もマラナタの編集長をさせていただきます、かほです。初めて見てくださった方もいると思うので簡単な自己紹介をします。現在大学生、そろそろ就職を考え始める時期です。ジャンルは美大生ですが…はあ…。就職を考え始めるにあたって、美術を仕事にしたいのか、それとも自分を保つもの・開放するものとして好きなのかとか…はっきりさせないといけないなと感じています。

昨年にこのマラナタ online バージョンをはじめ、不定期でしたが何回か青年会の様子をこの教会HP上で配信をしていました。昨年も上半期と下半期の2回、冊子の発行をし、年度末には全国の教会へ冊子を届けました。もちろん私1人ではありません。2人の委員と一緒に発行していました。今年度は一部の役職入れ替えを行ったので、フレッシュな大学1年生と、前編集長の頼れる大人様との3人でお届けします。

このonlineは昨年度と同じく青年会の活動報告を不定期で発信していこうと思います。そして上・下半期発行の冊子では青年会メンバーの個人的な話なども併せて楽しい内容をお送りできればと思います。今年はいろんな活動ができて、たくさん報告を載せられることを密かに期待しています。短い挨拶ですが今年もマラナタをよろしくお願いします。

